

キーボード入力

1. ブラインドタッチ

ブラインドタッチ(blind touch)とは

キーボードを見ずに正しく文字入力することで、最近はタッチタイピングといわれることが定着しつつあります。

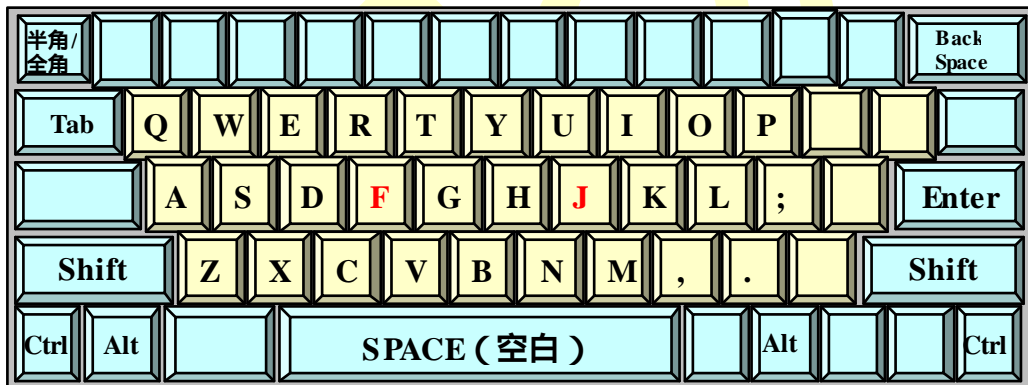
基本となる指の配置(ホームポジション)を正確に覚えることが必要です。

ホームポジションとは

キーボードの『F』と『J』には、普通小さな突起がついています。『F』キーに左手の人差し指、『J』キーに右手の人差し指を置き、それぞれひとつずつ指を置きます。これがホームポジションです。

左手 人差し指 F 中指 D 薬指 S 小指 A







右手 人差し指 J 中指 K 薬指 L 小指 ;



キーを打ったあとは必ず、このホームポジションに指を戻しましょう。


キーを打たない指はなるべくホームポジションに残したままにします。キーによっては打ちにくいものがあります。その場合、小指か人差し指を残すようにし、すばやくホームポジションに戻します。

2. 主なキーの役割

	左の文字を消す
	右の文字を消す
	カーソルの移動
	全角(日本語モード)と半角(英語モード)の切り替え
	{ 改行 漢字変換の確定
	

Shift キー

数字キーの上にある『!』・『"』・『#』等の記号を入力する場合、Shift キーを使います。

たとえば、『!』を入力するには、Shift キーを押しながら、 を押すと、『!』が入力できます。


日本語入力


日本語入力システム


日本語入力を行うのに必要なプログラムです。入力方式や漢字等に変換するための辞書を管理しています。日本語入力システムはアプリケーションに適應して働き、いろいろな種類があります。また、アプリケーションを問わず、共通で使用できます。一般的には Windows95/97 に標準で入っている MS-IME やジャストシステムの ATOK が有名です。

日本語入力システムの ON / OFF

日本語入力システムはタスクバーのインジケータに表示されます。

 を押すことで変更できます。

日本語入力 ON の場合 

日本語入力 OFF の場合 

MS-IME ツールバー



入力モード	入力できる文字の種類を表示する。
変換モード	入力した文字を漢字かな混じりに変換する方法を表示します。
IME パッド	読み方のわからない文字を入力するときに使います。
単語 / 用例登録	辞書にない単語やよく使う単語、用例に簡単な読みを付けて辞書に登録することができます。
プロパティ	MS-IME の機能を設定します。
ヘルプ	文字入力でわからないことがあるときに使います。
CAPS/KANA インジケータ	入力方式をあらわしています。

便利な文字の変換

ファンクションキーを使った変換

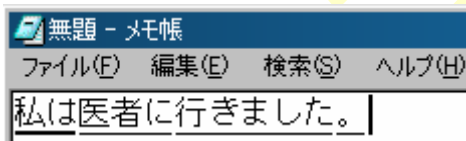
『ぴあの』という文字をファンクションキーで変換してみましょう。

ファンクションキー	変換の種類	変換後の文字
F 6	全角ひらがな	ぴあの
F 7	全角カタカナ	ピアノ
F 8	半角カタカナ	ピアノ
F 9	全角英字	p i a n o
F 10	半角英字	Piano

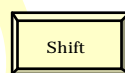
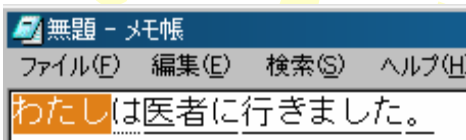
F 9・F10はローマ字入力で有効です。

一括変換の訂正 (変換の区切りを変える)

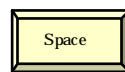
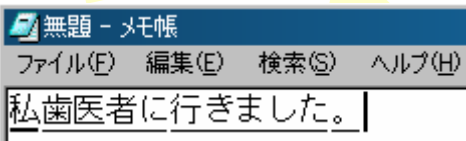
『私は医者に行きました。』を『私歯医者に行きました。』に変えてみましょう。



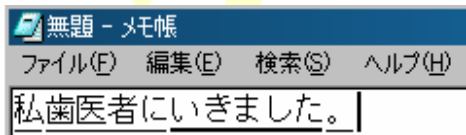
『私は』のところが太い下線がはっています。



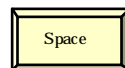
を押します。



を押します。



を押して、太い下線を移動させ、



を押して『いきました。』に変換します。